

も いち し し おどり 茂市鹿子踊

- ◇ 指定日 平成8年4月15日
- ◇ 所在地 茂市
- ◇ 保持団体 茂市鹿子踊保存会

鎌倉時代、源為朝の三男と言われる閉伊頼基が、幕府将軍源頼朝より閉伊地方を安堵され根城館を築きました。頼基の重臣七人のうちの一人、茂市氏が鹿子踊りを伝え今日まで伝承されたといわれています。

鹿を模した頭に兜の鍬形をつけ、三段（赤・緑・白）の幕を激しく振りながら跳ねます。

太鼓は、編み笠をかぶり、浴衣の両袖を襷でまくり上げて肘までの長い手甲をつけます。

盆の供養踊りとして、地元の熊野神社祭典で地域をまわって踊り、最後に境内で踊りを奉納しています。産土神・灯籠などをほめて、回向の唄を歌い、京の都を思わせる情緒がただよいます。

演目…前庭・後庭・太夫踊り・女鹿子狂い・キリ

